

2021～2022年度

小倉中央ロータリークラブ週報

第1238回 本日の例会

8月23日(月)

緊急事態宣言のため 休会



例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間 (8月2日 1237回 例会記録)

白石会長

出席報告 8月2日

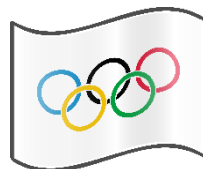
コロナ過ではありますが、オリンピックが開催中で、日本選手の活躍は、それはそれで嬉しいと純粋に思います。1964年の東京でのオリンピック、東海道新幹線開通の日本の技術力の高さ、日本で開催できる終戦からの国力の回復、日本選手の活躍を、中学生の私は誇らしい思いで見えていました。

考えると現在平均年齢61,39歳の我が小倉中央ロータリークラブで、57年前のオリンピックを実際に体感している会員は多くないのでみましょう。38人の会員には共通の話題は持ちにくいのかもしれません。

例えば、サンドイッチマンといえば、お笑いの2人組のサンドイッチマンをまず思い浮かべるでしょうし、一定程度年齢を重ねた人は、胸と背中に広告用の看板を下げて街を練り歩くサンドイッチマンと、鶴田浩二のサンドイッチマンの歌も併せて思い浮かべるでしょう。このように世代が違い、職業も違うロータリークラブの活動を円滑にするためにも、本日の久しぶりの夜間例会で親睦を深めていただきたいと思います。蔓延防止が出ましたのでこのような昼間の通常例会となりました。もうずいぶん夜間例会がなかったので今回こそはと思っていましたが、残念です。

ともあれ、30周年の準備はできるときにやるしかありません。本日はよろしくお願いたします。

尚、前述のサンドイッチマンの歌にはモデルがあります。帝国海軍連合艦隊司令長官、高橋三吉が戦後A級戦犯になったため、その子息が職を追われ、仕事を失って生活のためにサンドイッチマンになったという実話のもとになっているようです。



在籍会員数	38名
義務出席者	36名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	27名
本日出席率	75.00%
前々回修正出席率	86.84%

次回(8月30日)の例会は、

オンライン例会

8月のお誕生日

23日 芳賀 元生会員

25日 鍋島 律子会員



今月の主な予定

2日(月) 定例理事会

22日(日) RLI研修(オンライン)

25日(水) 二水会

28日(土) 土四曜会(どしようかい)

幹事報告

芳賀幹事

1. 定例理事会報告

①先週、クラブフォーラムで30周年の記念事業について意見交換をしていただき、その結果を踏まえ、例会後に実行委員会を開催しました。

皆さんの意見を含め、協議を行った結果、『青少年育成の観点から、北九州市のすべての子供たちが夢を追える社会を目指すことをテーマに、市内7つの児童養護施設を市内15のRCで継続的な支援体制を作る』こととします。

②もう一つ記念事業として、10年前、20周年記念事業で行ったタイムカプセルの開扉を秋に行う予定です。

③30周年についての今後の予定ですが、毎月、卓話の時間を使って委員会ごとのテーブルミーティングを行います。コロナ禍でありますので、なかなか個別に委員会が開けないことも考慮して、例会時に行います。部会長、委員長の皆さんを中心によりしくお願い致します。

(8月30日(月)・9月13日(月)・9月27日(月)を予定)

④従来、入会5年未満の会員を対象にオリエンテーションを実施しておりましたが、コロナにより2年前から開催が出来ていません。

今年度は、卓話の時間を使って、ロータリー情報委員会によるオリエンテーションをしていただく予定です。

(10月の予定)

2. 次週8月9日は、祝日のため休会。8月16日は、お盆休暇のため休会となります。次回の例会は、8月23日(月)です。

卓話の時間

クラブフォーラム

～創立30周年記念事業について～



ニコニコ献金報告

累計 101,000円

野口会員—久々のSAAで汗まみれでした👏👏
北垣会員—本日は、仕事の都合で出席できず申し訳ありません。野口さん、よろしくお願いします。

合計 4,000円



祝お誕生日祝い—芳賀元生会員

鍋島律子会員 (ありがとうございます。)

8月25日で59歳です。)

2019~2020年度 原田会長 細川幹事

2020~2021年度 光應会長 羽地幹事

お疲れ様でした!!



前々年度原田会長・細川幹事、前年度光應会長・羽地幹事へ感謝とねぎらいの気持ちをこめて、花束贈呈が行われました。世界中を巻き込むパンデミックにロータリークラブは、何もすることが出来ませんでした。原田会長、光應会長のご心配とご苦勞は計り知れないものがあり、また、何もできないもどかさもあつたと思います。我々、白石年度がしっかりと引継ぎ、繋げてまいります。